

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2	3 よみかせ ブックスタート おしゃべりタイム	4	5 あかちゃんおはなし会	6 一般イベント 「まちのみどりを育む 活動に参加して みませんか？」
7	8	9	10 よみかせ ブックスタート おしゃべりタイム	11	12 児童イベント 「わくわく！ はじめての工作会」	13 ブックスタート
14	15	16 休館日	17 おはなし会 ブックスタート おしゃべりタイム	18 児童イベント 図書館利用者向け 託児サービス	19 あかちゃんおはなし会	20 一般イベント 「浮世絵に見る 江戸の食卓」
21	22 休館日	23	24 よみかせ ブックスタート おしゃべりタイム	25	26	27 ブックスタート
28 一般イベント 「栗実る “ベジファームかのん” 見学会」	29 休館日	30				

講演会

「栗実る “ベジファームかのん”見学会」

一般イベント



練馬区は住宅地で営まれる「都市農業」に積極的に取り組んでおり、その魅力と可能性を発信する「全国都市農業フェスティバル2025」を11月に開催します。石神井図書館では、地域の豊かな食や環境につながる都市農業について地域の皆さまに具体的に知っていただくために、一昨年に石神井図書館周辺の直売所を紹介する「“農”マップ」を作成しました。今回は「“農”マップ」にも掲載の農園にご協力いただき見学会を実施します。会場は上石神井の旧地名「観音山(かのんやま)」にちなんで名づけられた農園「ベジファームかのん」です。代々受け継がれてきた農業へ新しい技術を取り込んだハイブリッドな農業を目指す生産者の高橋範行さんの案内で農園の様子や収穫作業を見学します。この機会に地域の農業の豊かな営みにふれてみませんか？



日時：令和7年9月28日(日) 午後2時～4時 対象：一般(中学生以上) 定員：15名
申込：電話・カウンター・ホームページにて受付 申込受付期間：8月19日(火)～9月18日(木)
※定員を超えた場合は抽選となります。

講演会

「まちのみどりを育む活動に 参加してみませんか？」

一般イベント



練馬区は「みどりに恵まれた良好な環境の中で誰もが暮らしを楽しむ成熟都市」の実現を目指し、区民とともにみどりを育むムーブメントの輪を広げる取組みを行っています。なかでも石神井は、都立石神井公園を中心に憩いの森や農地等が点在している、区内でも有数の緑豊かなエリアです。そんなまちの魅力のひとつであるみどりの現状を知り、自分のみどりを育む活動をしてみたいという方に向けた講座を実施します。講座では、憩いの森の落ち葉掃きや、まちの花壇づくり等のボランティアの紹介をはじめ、道路沿いや建物を緑化する助成制度、みどりを守り育む活動に参加したい方と活動の現場をつなげるための登録制度など、みどりを育む様々な方法をご紹介します。講座の後には相談会を行います。希望者は具体的にみどりを育む活動について相談することもできます。ちょっと気になっているという方も大歓迎。ぜひご参加ください！



日時：令和7年9月6日(土) 午後2時～4時
対象：一般(中学生以上) 定員：30名
申込：電話・カウンターにて受付



図書館と学校

図書館は、地域の学校の読書活動を支援しています。その取り組みをご紹介します。

小学校には、学級文庫や調べ学習に使う本など依頼された本をお届けする団体貸出はもちろん、図書館見学の受入、出張おはなし会を行っています。図書館見学では地下書庫も案内し、普段は見られない設備に子供たちの歓声が上がることも！出張おはなし会では、よみきかせ、パネルシアター等の演目を行い、子供たちが楽しむ様子にスタッフも元気をもらっています。

中学校や高等学校へは、部活動・サークル活動の発表の場の提供、館内での生徒の作品展示を実施しています。中学生が行うよみきかせイベントは、練習を積んだ様子が伝わる素晴らしい内容で、毎回好評を博しています。本のPOP展示も、力作が並び圧巻です。

10/27～11/9の読書旬間では、お隣の石神井小学校を訪問します。1・2年生はよみきかせを、4・5年生にはねりま子どもと本ネットワーク(NCBN)の方々と本の探検ラリーを実施します。探検ラリーは、クイズの答えを本の中から探してもらい、正解すると最後に認定証をゲットできます。3・6年生はスタッフがテーマに合わせたおすすめ本を紹介するブックトークを行います。担当者はテーマや本選びに頭を悩ませながら頑張っています。いずれも準備の真っ最中です！

学校に向けた取り組みを通じ、子供たちに図書館や本への興味や親しみが広がり、図書館が多角的に利用されるように繋げていきたいです。



青少年展示のおすすめ

青少年図書



10代の人へ、そしてかつて10代だった人たちへ

『八月の光』 朽木 祥/著 偕成社

この本は、あの日のヒロシマを題材とした物語が3作の短編で構成されています。ヒロシマの出来事を経験する10代の少女少女たちの生き様は、読んでいると本当に目を背けたくなるほど凄惨です。登場人物の心理描写も繊細に描かれていて、年端もいかない子どもたちの日常を壊してしまったこの出来事を、なかったことに出来ないのかと思うくらいでした。これからの未来を生きる人々に語り継がなければならない、という、著者からの強いメッセージが込められている作品です。今生かされている人々の未来が、どうか平和と希望で満ち溢れたものでありますように、と著者のあとがきも印象に残りました。著者のメッセージを受け取って、この本を読んだ私自身もこの事実を記憶しておかなければ、と改めて考えさせられました。10代はもちろん、大人にも読んでもらいたい作品です。(石神井図書館スタッフ.F)



8月のピックアップ展示

令和7年8月26日(火)～令和7年9月21日(日)

青少年展示 「平和について考える」



階段ギャラリー

「戦後80年
—昭和20～30年代の練馬の風景—」



地域展示 「石神井ゆかりの作家たち」



一般展示

「食べ・歩・記～たべあるき」

